

2013年11月25日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報55号

リオ市南部地区における犯罪の多発

海水浴シーズンの到来に伴い、南部地区の海岸(特にアルポアドールからレブロンにかけての砂浜)で強盗が多発しています。休日の白昼に混み合うビーチで、海水浴客を襲撃する手口で、貧困地区の少年グループによる犯行です。

警察は先週から砂浜の監視を強化していますが、被害発生が続いています。

また、過去の事例から、砂浜の警戒が強化されると犯行場所が海岸から路上に移行する可能性がありますので、コパカバーナを含め、砂浜でも路上でも犯罪者は常に標的を探していると認識して注意してください。

犯罪の標的とならないために、以下を参考にしてください。

- 1 目立たない
 - ・派手な服装を避け、貴金属やブランドもののバッグを身につけない
- 2 隙を見せない
 - ・バッグなどを地面や椅子に置き去りにしない
 - ・不用意にカメラやスマートフォンを使用しない
 - ・景色を見るのに没頭しない
- 3 警戒心を目に見える形で表す
 - ・徒歩移動は早足で
 - ・追従者など不審者がいないか時々振り返って周囲の確認をする
 - ・不審者に気づいたら安全な場所に退避して様子を見る
- 4 被害を最小限にできるよう工夫する
 - ・不必要な貴重品を持ち歩かない
 - ・貴重品を持ち歩く場合は、現金とは別にして保管する
 - ・強盗に襲われた場合にはむやみに抵抗せず、金銭等を渡して身の安全を第一に考える